

西海学園高等学校年間学習指導計画

科目	単位数	2 単位（55 時間）
化学基礎	学年・学級	第3 学年 3 組
使用教科書，副教材等	教科書：東京書籍 化学基礎 問題集：数研出版 「チェック&演習 化学基礎」	

1 学習の到達目標

- ・「化学基礎」の復習を通じて、知識の定着を図り、理解を深める。
- ・問題演習を通じて、共通テストに対応できる力を身につける。
- ・資料集なども活用し、知識の詰め込みに終わらず、最新の化学技術の活用にも触れ、興味・関心を持たせ、応用力を身につける。

2 学習の計画

学期	月	単元（教材）名	学習のねらい	主な学習活動
一学期	4月	＜化学基礎の復習＞ 1 編：化学と人間生活 2 編；物質の構成	基本問題演習を通じて、「原子の構造」，「結合・結晶の種類」の復習と定着を図る。	・小テスト 問題演習を行う。 ・資料集を活用し，応用力を身につける。
	5月	3 編：物質の変化 1 章：物質と化学反応式	基本問題演習を通じて、「物質の量」「反応式の量的関係」の復習と定着を図る。	・小テスト，問題演習を行う。
	6月	2 章：酸と塩基	基本問題演習を通じて，「酸・塩基の定義」，「中和反応」中和滴定」の復習と定着を図る。 水素イオン水酸化物イオンの量的な関係と中和を理解させる。 水素イオン指数値からpHを計算で求める。	・中和の量的な関係，やpHの計算を小テスト，問題演習にて行う。 ・資料集を活用し，応用力を身につける。 ・中和滴定は，動画で実験の基本操作や流れを確認し，考察させる。
	7月	3 章：酸化還元反応	基本問題演習を通じて，「酸化・還元」の定義」，「酸化剤・還元剤」，「酸化還元反応」の復習と定着を図る。 ・平常授業で扱えなかった実験を行い，興味・関心を高める。 また，考察などを通じて，思考力を身につける。	・小テスト，問題演習を行う。 ・資料集を活用し，応用力を身につける。 ・酸化還元反応・電池・金属の精錬は，動画で実験の基本操作や流れを確認し，考察させる。 ・時間があれば，実験を行う。

学期	月	単元（教材）名	学習のねらい	主な学習活動
二 学 期	9 月	<化学基礎の演習> ・物質と化学反応式	・基礎問題演習を通じて、さらなる理解を深める。	・小テストで知識の復習する。 ・基礎問題で演習する。
	1 0 月	・酸と塩基 ・酸化還元 ・推薦入試対策	・教科書の問題演習を通じて、さらなる理解を深める。 ・小論文のテーマ対策としての化学の力を養う。	・小テストで知識の復習。 ・基本計算を中心に演習問題を解く。 ・小論の基本を指導する。
	1 1 月	<化学高分子化合物> ・天然高分子化合物 糖 単糖類, 多糖類 アミノ酸, タンパク質 ・推薦入試対策	・医療系、食物系学部進学を希望する生徒のための、天然高分子の概略を理解させる。 ・小論のテーマにそくした内容を取り上げる。	・用語テストや基礎テストで知識の確認をする。 ・小論の基本を指導する。
	1 2 月	・核酸・ビタミン類 ・油脂, 脂肪酸, セッケン ・ゴム, 合成ゴム	生物と関連する糖, タンパク質, 脂質, ビタミンなどを化合物として理解させる。	・用語テストや基礎テストで知識の確認をする。
三 学 期	1 月	・第5回考査	基礎的知識の定着	練習問題を解く。